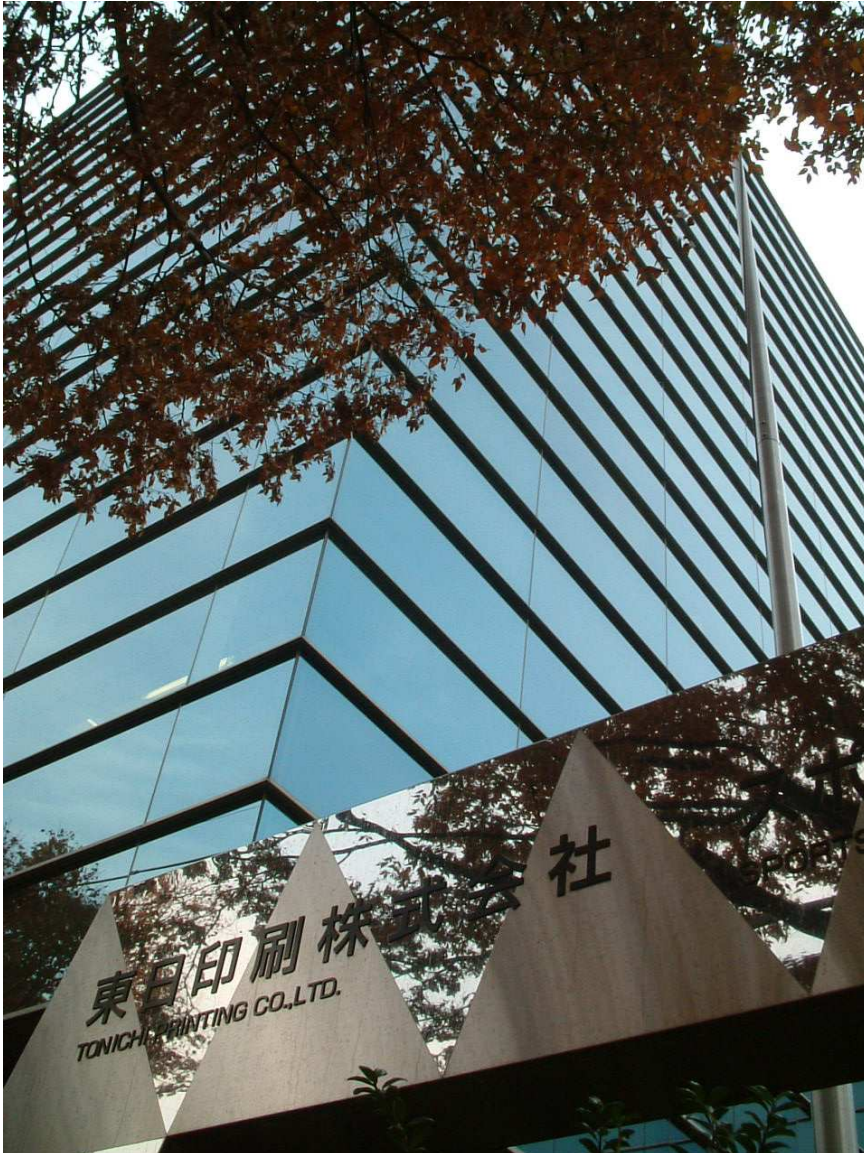




新年 明けましておめでとうございます



■お客様訪問記 『東日印刷株式会社』様

今から35年前の漢テレ（漢字テレファックス）導入以来のお付き合いをさせていただいている東日印刷株式会社様をご紹介します。

東日印刷は毎日新聞、スポーツニッポン新聞、株式市場新聞、聖教新聞、公明新聞、東京スポーツ新聞、東京新聞、アジア・ウォールストリート新聞、化学工業日報など9社の日刊紙を印刷しております。その他週刊誌、旬刊紙、不定期紙数十紙の印刷を行っている日本最大級の日刊新聞印刷会社です。

昨年末、上流工程の新紙面製作システムを構築し完成しました。特徴としては、東日印刷製作局内、スポニチ編集局内（越中島）で紙面製作を行い、リモート組版によってスポニチ西部本社内（九州）、公明新聞の建物内（信濃町）でも紙面製作が出来るようになった事です。

新システムは東芝が中心となり、大日本スクリーン、松下、NEC、方正、富士フィルムなどの各社がそれぞれの担当で採用されました。

従来のCPU室・デバックルームが4Fから3Fに移行されました。デバックルームでの田中電気は24時間のシステム管理業務を担当しております。



秋葉原の歴史 シリーズその14

『秋葉神社』

秋葉神社はもともと、江戸城内の秋葉山に鎮火の守護神として祀られていました。明治2年東京大火災後、神田相生町周辺は空き地となり火除地とされました。そしてその地に火除けの守護神として翌3年、皇居内より鎮火社（当時の正式名）を遷したのが神社の初めで、それ以来鎮火社は一般に秋葉様と呼ばれ、東京一円の火災鎮護の祈願所として、広く国民より信仰を受け親しまれてまいりました。

現在、秋葉町の地名の由来にもなっており、明治21年に台東区松が谷に移り、昭和5年に社名（鎮火社）を一般に呼び親しまれた「秋葉様」の名前にちなみ「秋葉神社」と改称し現在に至っています。

「火渡り式」は社殿前で御焼上げが行なわれ、裸足で赤々と燃えた炭火の上を無病、息災と防火を祈りながら、静粛で厳かな神事もとりおこなっています。



コンピューターで新聞製作を行う東日印刷(株)製作局



スポーツニッポン新聞社編集局



組版されたカラー紙面を出力するカラー大刷機



システム監視端末に囲まれた田中電気(株)デバックルーム

新年から 美味しいコーヒーや お茶を飲みませんか？

大勢の方々からご契約をいただきましてありがとうございます。

初期費用はボトル3本分(6,930円)です。
90℃の熱いお湯も出るのでいつでもお茶が楽しめます。

ご注文は **0120-118-772**まで



高さ1m×幅32cm×奥行37.5cm
(ボトルを入れた状態で143cm)
冷5度・温90度

5ガロンボトル 1本(約19リットル)
2,310円(税込)

一編集者後記一 昨年(特に12月号)は誤字など、大変失礼致しました。新年を迎え新たな気持ちでがんばります。携帯をやっとFOMAに替えました。写真の画像の綺麗さに驚いています。新年(1/28)からは、モバイルスイカ(JR)を使うのが楽しみです。(矢島)

新年のご挨拶を申し上げます



東日印刷デバックルームより撮影

皆様のおかげでファクトリーニュースも4年目に入ります。内容も益々充実させて参ります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役社長 田中良一



お問合せは、秋葉原ファクトリーまで **0120-118-772**